



仙北地域振興局福祉環境部
環境・食品衛生班 技師 福間幹大

経歴

採用2年目

- H27年 入庁
仙北地域振興局福祉環境部
環境指導課 環境・食品衛生班
- H25年 愛知県庁 勤務

ある日のスケジュール

- 8:20 出勤(自家用車)
- 8:30 朝礼、朝コミ
- 10:00 食品営業の許可調査へ
(現地確認)
- 12:00 帰庁、昼食(同僚と食堂へ)
- 14:00 管内小学校にて講習会
(食中毒予防のための手洗い
教室)
- 15:30 帰庁、報告書作成
- 17:30 退庁、夜の会合へ

わたしの職場はこんなところです

保健所は3班体制で、それぞれ生活環境の保全に関する業務、健康増進と疾病予防に関する業務、保健福祉と所内調整に関する業務を担っています。医師、保健師、薬剤師、獣医師など多種多様な職種の方々に構成されています。職員は所内全体で30人ほどで専門分野に共通点も多いため、職員同士の距離が近く、過ごしやすい雰囲気です。

わたしは今、こんな仕事をしています

食品衛生監視員として、食中毒の防止のために飲食店に立入指導を行ったり、安全確保のための流通食品の検査などを行います。また、狂犬病予防員として、放し飼いになっている犬が住民に危害を加えないよう取締りを行うこともあれば、犬猫の適正な飼養について相談を受けることもあります。

秋田県のここが好き！

明瞭な四季に魅力を感じます。脅威を感じるほどの雪景色はもちろんですが、どの季節どの場所にも目を奪われる景色が多くあり、秋田県に住み始めてから本当の「四季」を知ったような気がします。また、気候だけではなく、地域ごとに色濃く残る食文化や祭事からも季節を感じることができるのも魅力的です。

生活環境部の獣医師職のやりがいはここ！

自分が持つ知識が、目の前の人・動物ばかりでなく広く県民の健康や生活環境を守るために活かされることにやりがいを感じています。食中毒発生・違反食品発見時などは、自分たちが適切な措置を講ずることで多くの住民の健康を守ることに繋がります。また動物愛護に関する業務では、適正な指導をすることで目の前の動物とその飼い主だけでなく、その周りに住む人々の生活環境の保全にも繋がります。仕事の規模が大きく、利益ではなく県民のためを第一に考えてできるところがやりがいです。

秋田県職員として働く魅力をおしえてください。

秋田県の獣医師は人材が豊富とは言えないため、他の自治体では細かく分担するような業務も、限られた人数で手広くこなしていかなければなりません。大変なことも多いですが、様々な現場を見てたくさんの経験ができる環境は、自分のような若手職員にとってはプラスになることばかりです。秋田を盛り上げたいという共通の思いのもと、職種を超えたつながりが持てることも秋田県職員ならではの思いです。

入庁前に抱いていたイメージは実際に働いてみて変わりましたか？

食中毒への対応や営業許可業務をはじめとして、保健所の業務は規制を設けて取り締まる色合いが濃いと感じていました。しかし、いざ入庁して上司と仕事をしていると、建設的な業務内容も多く、自分たちの分野でも県を盛り立てていくためにできることがたくさんあるのだと感じました。

採用試験の準備は、どのようにしましたか？

採用試験は一時のことですが、実際に県職員として生活する時間はとても長いので、試験のことを考える時間より、自分がどのように働いて生活していきたいのかを考える時間の方が長かったと思います。図書館で本を読んだり、時間を見つけては観光がてら県内各地を訪ねてみて、そこで感じたことを日記に書いていました。そうすることで、自分が県職員・県民としてどう過ごしたいのかがはっきりして、試験に対するモチベーションも上がりました。日記は、仕事を始めてから初心を振り返りたいときにも便利です。

秋田県職員採用試験の受験を考えている方へ、一言！

みなさんが入庁するまでに、私も手厚いフォローができる先輩になれるよう頑張ります。
秋田県職員として一緒に楽しく仕事をいきましょう！



生活環境部 食肉衛生検査所
精密検査班 技師 佐藤 有里子

わたしの職場はこんなところです

食肉衛生検査所は、鹿角市の山と田んぼに囲まれた自然豊かな場所にあります。主な業務は「と畜検査」と言って、各農場から運ばれてきた豚を食用として出荷できるかどうか判断し、安全な肉だけを流通させるという重要な仕事です。と畜検査は職員全員で行いますが、それ以外にも、業務班、管理・指導班、精密検査班の3つに分かれて各々の業務を行っています。約20人が勤務しており、臨時職員含めて4人が20代、その他は40～50代と年齢差はあるものの、分け隔ての無い楽しい職場です。

わたしは今、こんな仕事をしています

私は主にと畜検査を担当しています。と畜検査には、生きている状態を検査する「生体検査」、解体された後に行う「内臓検査」、「枝肉検査」があります。これらの肉眼による検査の他に精密検査も行いますが、私は理化学検査の担当として、残留動物医薬品（治療に使った抗菌剤など）のモニタリング検査なども行っています。また、と畜場や関連施設への衛生指導も行っています。衛生的な器具の使用方法や、手洗いの仕方、施設の管理方法などについて施設職員の方々と一緒に確認することで、常に清潔な環境を保つよう努めています。

秋田県のここが好き！

秋田にはおいしい食べ物や豊かな自然、温泉などの都会では味わえないものがたくさんあります。そのなかで私が特におすすめしたいのは竿燈祭りです。真夏の4日間の空を、稲穂に見立てた提灯が美しく壮大に彩ります。目の前で竿燈をあげる力強い差し手の姿を見るもよし、ビルなどの屋上から本物の稲穂のように揺らめく竿燈を見るもよしと、様々な角度から楽しめるお祭りとなっています。

生活環境部の獣医師職のやりがいはここ！

と畜検査は、消費者の口に入る食肉の安全を守る砦であり、とても責任の大きい仕事ですが、先輩たちの指導のおかげで、できることが着実に増えていく仕事です。また、検査を行う上でチームワークが必要不可欠なため、協力しながら仕事をする楽しさを実感できます。

と畜検査自体は裏方の仕事ではありますが、スーパーで自分たちが検査した肉を見ると、ちょっとした嬉しさを感じることができ、獣医師でありながら、人々の生活に役立つことができる、とてもやりがいのある仕事です。

オフは何をしていますか？

終業後は、スーパーで買い物をして次の日のお弁当作りをしたり、部屋のインテリアをDIYしたりしています。鹿角には温泉がたくさんあるので、日帰り温泉に行くこともあります。土日は実家がある秋田市に行って友人と遊んだり、夏の間は竿燈のお囃子練習をしたりと、充実した日々を過ごしています。

上司や仕事仲間との印象的なエピソードがあればおしえてください

と畜検査では病変部位を包丁やのこぎりで割除するのですが、なかなか上手くできず手こずっていた時に、先輩から「こうすればやりやすいよ」などとアドバイスを頂き、無事に自分で割除することができました。かなり時間はかかってしまったのですが、あえて手は出さずに見守ってもらえたことで、自分の力で解決するという経験ができ、レベルアップにつながることができました。

秋田県職員採用試験の受験を考えている方へ、一言！

獣医師という小動物臨床のイメージが強いと思います。しかし、公衆衛生学、感染症学、寄生虫学などを網羅している獣医師は、公衆衛生分野にとって、なくてはならない存在と言えます。また、2020年の東京オリンピック開催を控えて、食の安全性が世界から強く求められる今こそ、公衆衛生獣医師として活躍するチャンスではないでしょうか。でも獣医だし生きていく動物にも関わってみたいと思った方！秋田県では動物愛護にも力を入れていきます。食の安全、新たな出会いを待つ犬猫のために一緒に秋田で働きましょう！

経歴

採用1年目

H28年 入庁 生活環境部
食肉衛生検査所
精密検査班

ある日のスケジュール

- 8:10 出勤(自家用車)
- 8:30 朝礼・朝コミ、メールチェック、豚のと畜検査
- 10:30 精密検査
(残留動物用医薬品検査)
- 12:00 昼食
- 13:00 豚のと畜検査
- 14:30 精密検査、検査結果集計、メールチェック、回覧物確認
- 17:15 退庁

